

09-073

日時：2010/02/16 (Tue) 18：30～20：30；京都保健衛生専門学校 視聴覚教室  
参加人数：32(31)人

演題 1：心電図講座 2～ペースメーカー心電図編～  
演題 2：デバイス治療の最先端～CRT 等について～  
演題 3：植込み型心電用データーレコーダーについて  
講師 1,2：山田 宣幸 技師（三菱京都病院）  
講師 1,2：大桐 摩実 氏（日本メドトロニック株式会社）  
講師 3：山本 宏 氏（旭化成株式会社 先進医療機器センター）

生理研究班講習会「第四回 心電図講座 2 ペースメーカー編」を京都保健衛生専門学校 1F 視聴覚教室にて行われた。始めに、今年行われた精度管理のペースメーカー問題の解説から始まった。正答率があまりよくないために解説が今回の講習会で解説された。次に、ペースメーカー前回までの復習を簡単に講義し、CRT や ICD の機能の話しとなった。今までのペースメーカー機能にさらに治療をおこなう機能が搭載されているということで、話の内容が難しいと思っていたが、講師の先生方が分りやすく説明して頂けたので、集中して話を聞くことが出来た。最後に、昨年から保険償還が決まった植込み型心電用データレコーダーの話があった。京都ではまだ埋え込み例が無いということで、興味ある話が聞くことが出来たと思う。来年度も、ペースメーカー勉強会に本年以上にたくさんの方々参加して欲しいと思う。

2010/03/04 報告：富川 太平（三菱京都病院）